

令和 6 年度温排水影響調査結果<参考資料> (夏季)

I. 拡散調査

1. 水温水平分布
2. 水温鉛直分布

II. 付着生物調査

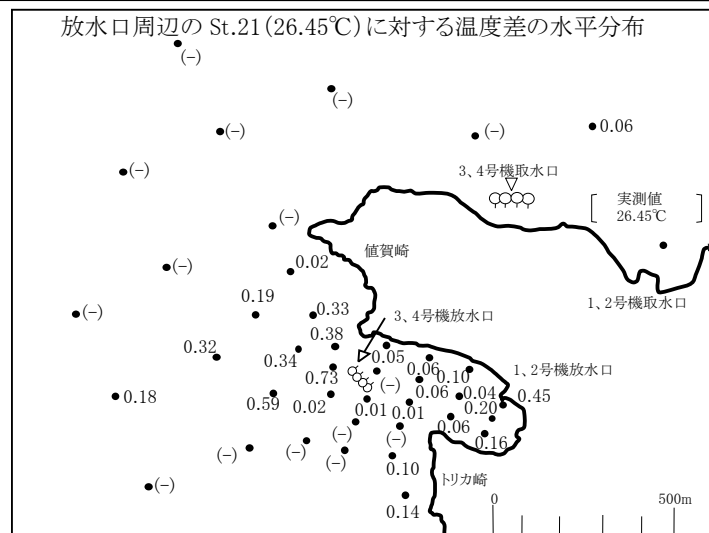
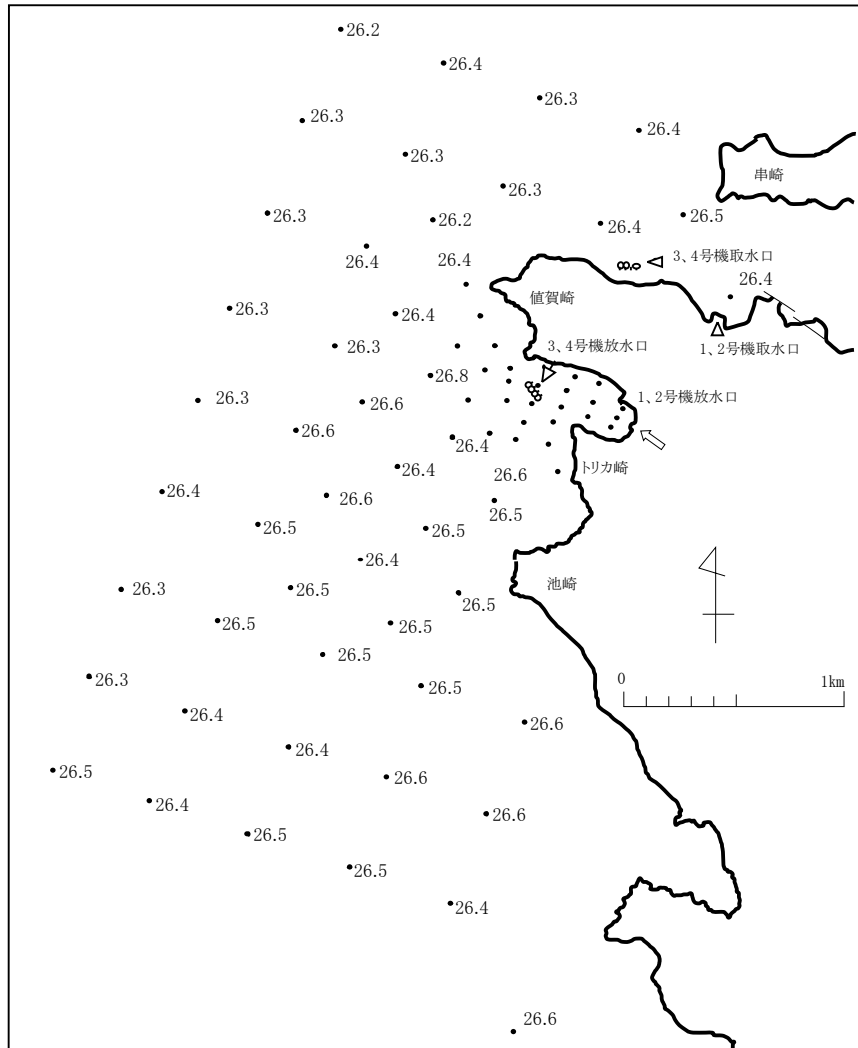
1. 主な付着生物出現種一覧
2. 付着生物調査結果

I. 拡散調査

1. 水温水平分布

【下げ潮時】

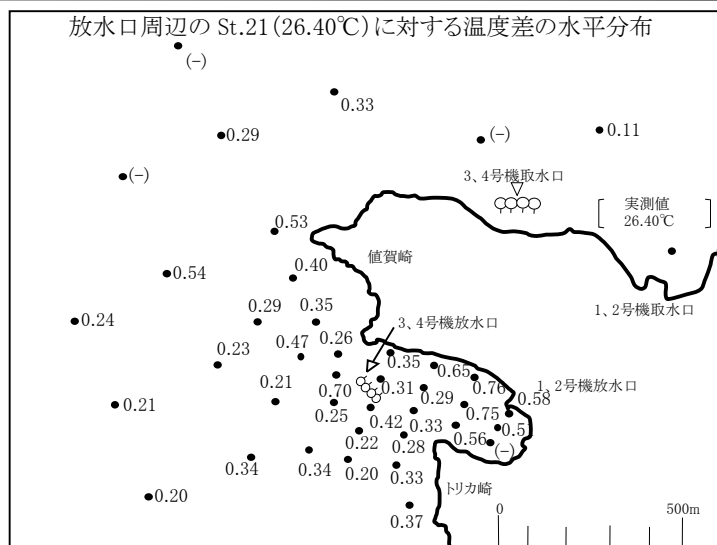
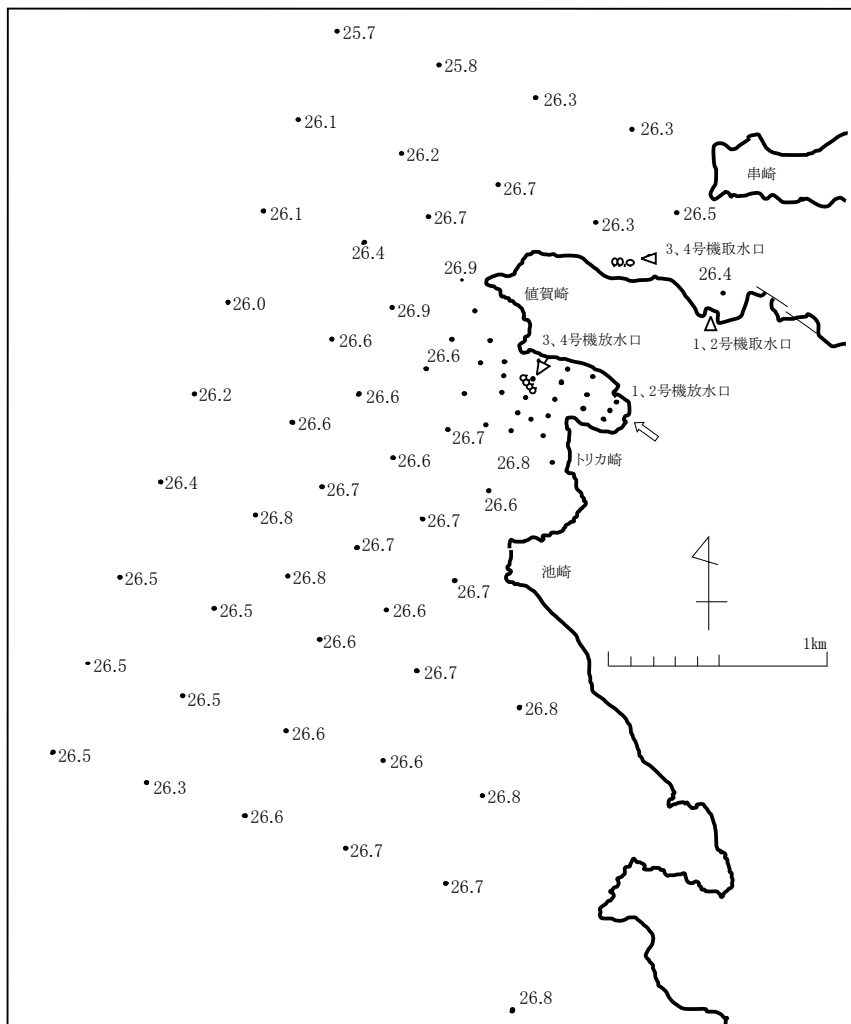
水深 1m層の水温分布（上段）および放水口周辺の水温差分布（下段）



(-) : 取水口付近 (st.21) に対し、低い水温が観測された地点を示す

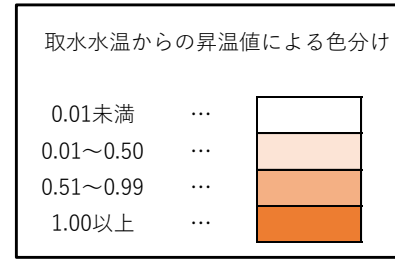
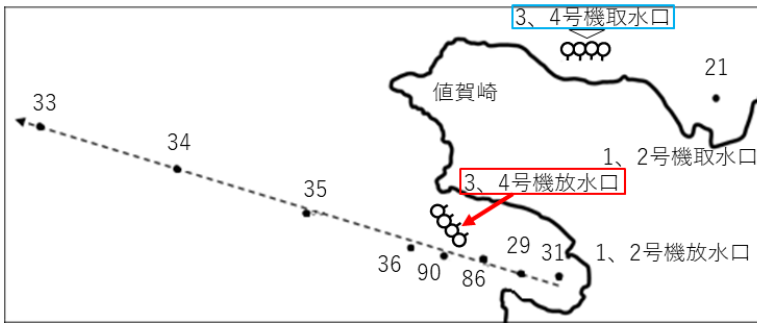
【上げ潮時】

水深 1m層の水温分布（上段）および放水口周辺の水温差分布（下段）



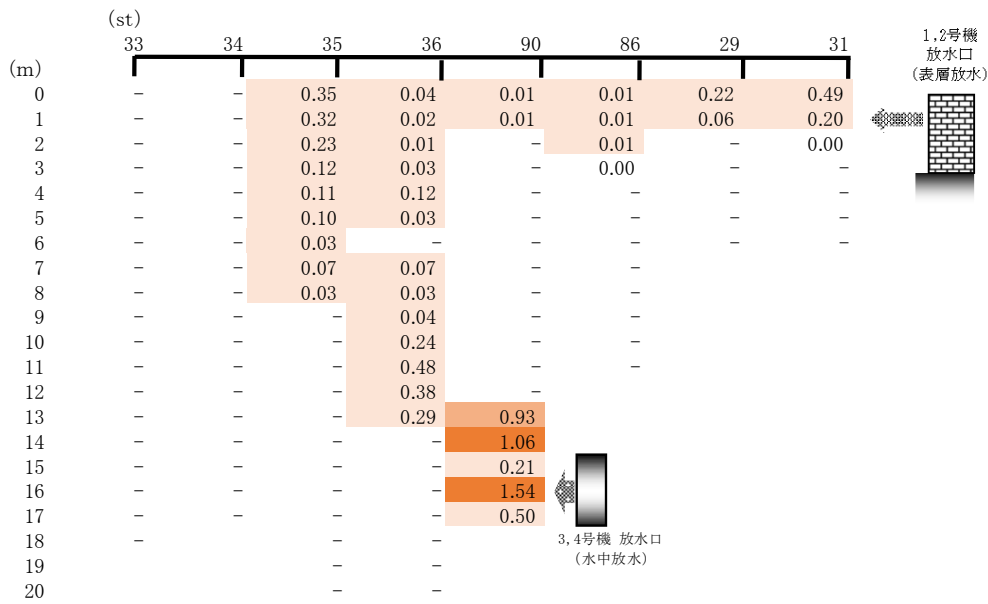
(-) : 取水口付近 (st.21) に対し、低い水温が観測された地点を示す

2. 水温鉛直分布

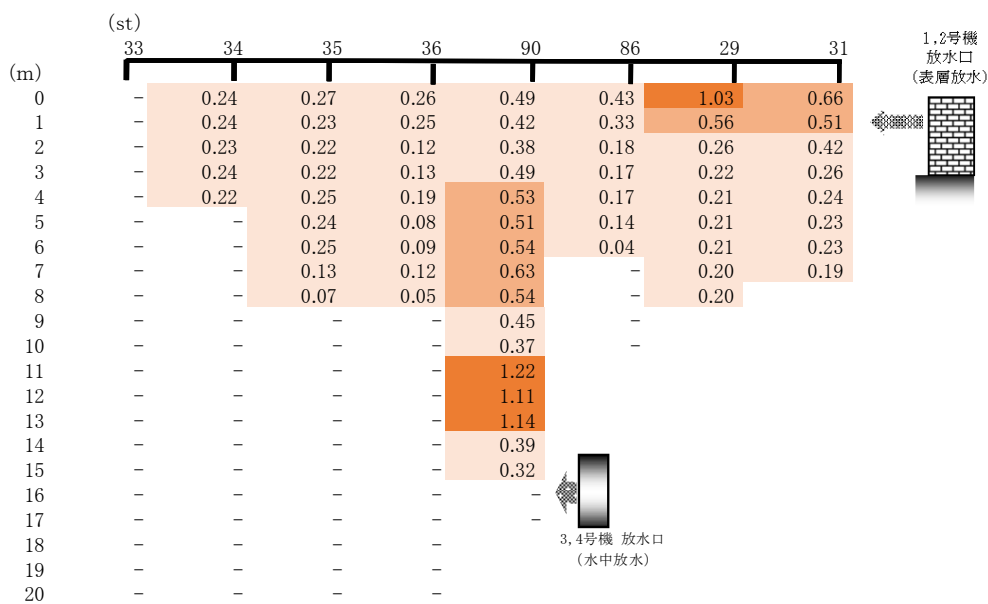


- : 取水水温に対し、低い水温が観測された地点

【下げ潮時】



【上げ潮時】



II. 付着生物調査

1. 主な付着生物出現種一覧

【動物】

ヒザラガイ



マツバガイ



アラレタマキビ



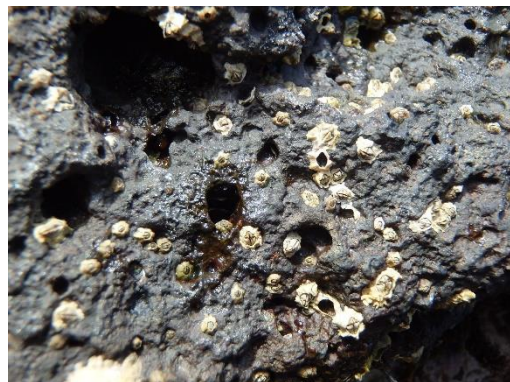
ムラサキインコ



カメノテ



イワフジツボ

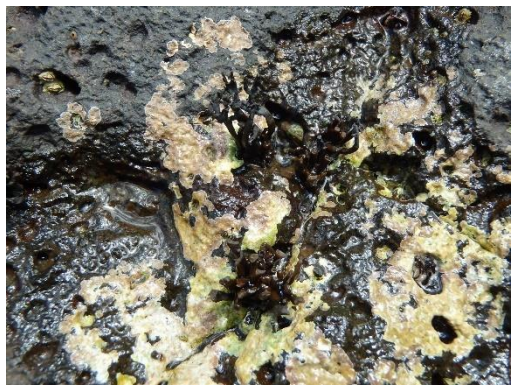


クロフジツボ



【植物】

イシゲ



イワヒゲ



ヒジキ



サビ亜科



2. 付着生物調査結果（夏季）

【潮間帯付近の動物】

No.	種類				調査側線													
					A-3	B-3	B-4	C-1	C-2	D-1	D-3	E-1	E-2	E-3				
1	刺胞動物門	花虫綱	イソギンチャク目	イソギンチャク目	c		r	r										
2*	軟体動物門	ヒサ'ラガイ綱	ヒサ'ラガイ目	ヒサ'ラガイ科	ヒサ'ラガイ	r	r	r	c	r	r			r	r			
				ケハタ'ヒサ'ラガイ科	ケハタ'ヒサ'ラガイ科				r	r			r					
3*		マキガイ綱	オキナエビス目	ツタノハ科	ベ'ッコウサ'ラ		r							c				
					マツバガイ		r	r	r	r	r	c	c					
				ユキノカサ科	ユ'ノ'カ'サ		r	r		c	r	r		cc			r	
					ウ'ノ'ア'シ	r	r			c			r	r	c	r	r	
					シロカ'イ属							r	r	c	r	r		
				ニシキウス'科	ア'オ'カ'イ属								c	c				
					イン'タ'タ'ミ								r	r	c			
					ケ'ビ'レ'ク'ロ'ツ'ケ								r					
				クボガイ	ク'ボ'ガイ												c	
					ク'マ'ノ'コ'ガイ										r			
リウ'テ'ン'科	サ'サ'エ	r					r					r						
9				ス'ガイ					r				c	r				
				ア'マ'オ'ブ'ネ'科	ア'マ'ガイ									c	c			
11*			ニナ目	タマキ'ビ'ガイ科	ア'ラ'レ'タ'マ'キ'ビ'	cc	cc	cc	c	c	c	cc	cc	cc	r			
					コ'ビ'ト'ウ'ラ'ウ'ズ'											r		
					タ'マ'キ'ビ'ガイ科	r			c				c		c			
				ム'カ'テ'ガイ科	オ'オ'ヘ'ビ'ガイ		r				r	r						
13			ハイ目	ア'ク'キ'ガイ科	レ'イ'シ'ガイ	r	r		r									
					イ'ボ'ニ'シ	c	r	c	r	r	r	r	c		r			
				エ'ゾ'ハイ科	イ'ソ'ニ'ナ					r		r	r	c				
16		ニマイガイ綱	イガイ目	イガイ科	ム'ラ'サ'キ'イ'シ'コ (被度%)	r	cc	cc	cc	r	r	r		r	r			
17			ウケ'イ'ス'ガイ目	イ'タ'ボ'ガ'キ'科	ケ'ガ'キ	r			cc	cc			c	c	r			
18			ハマグリ目	イ'ワ'ホ'リ'ガイ'科	イ'ワ'ホ'リ'ガイ'科								c					
19	環形動物門	ゴカイ綱	ケヤリ目	カン'ザ'シ'コ'ガイ'科	ヤ'ッコ'カン'ザ'シ (被度%)	r	r		r		r	r	r	r	r			
20	節足動物門	甲殻綱	フシ'ツボ'目	ミ'ヨ'ウ'ガ'イ'科	カ'メ'ノ'テ (被度%)		c	c	r	r	r	r	r	c	r			
21				イ'ワ'フ'シ'ツ'ボ'科	イ'ワ'フ'シ'ツ'ボ' (被度%)	cc	r	r		r			r	r	r			
22				フ'シ'ツ'ボ'科	ク'ロ'フ'シ'ツ'ボ' (被度%)	cc	cc	cc	r	r				cc	r	r		
23	棘皮動物門	ウニ綱	ホンウニ目	ナ'ガ'ウ'ニ'科	ム'ラ'サ'キ'ウ'ニ	r	c	r	c		r			c				

注1:「r:極少量見られる c:少量見られる cc:普通に見られる ccc:多く見られる」

注2:「No.2、No.3、No.11」は、H10年度の調査結果と比較するため、旧分類でまとめて計上

注3:個体数として計測することが困難な種類は被度(%)で測定し、種類の欄に「(被度%)」と記載

【潮間帯付近の植物】

No.	種類				調査側線													
					A-3	B-3	B-4	C-1	C-2	D-1	D-3	E-1	E-2	E-3				
1	緑藻植物門	緑藻綱	アオサ目	アオサ科	アオサ属	r								r	r			
2	褐藻植物門	同形世代綱	アミシクサ目	アミシクサ科	ウツチワ属						r							
3					アミシクサ科					r		r					r	
4		異形世代綱	ナガマツモ目	イシゲ科	イシゲ		r			r	r			c	r	r		
5						ハバモトキ目	コモンブクロ科	イワヒゲ		r			r					r
6							カヤモリ科	フクロノリ						r				
7		円孢子綱	ヒバマタ目	ホンダワラ科	ヒシキ		r	c		cc	cc	r			c	r		
8						ウトラノオ		c	r	r	r				r	r	c	
9						イソモク								r				
10						ホンダワラ属								r				
11		紅藻植物門	真正紅藻綱	テングサ目	テングサ科	ヒメテングサ	r	r	r	r	r	r	r		r	r		
12	テングサ科						r		r	c	r	r				c		
13	カクレイ目		サンゴモ科	サビ重科		c	c	c	cc	cc	cc	c	cc	r	cc			
14					サンゴモ亜科		c	c	r	r	c	r		r		r		

注1:「r:極少量見られる c:少量見られる cc:普通に見られる ccc:多く見られる」

<凡例> 【潮間帯付近の動物】

平均個体数 (個/枠)

1個未満	r
1個以上～10個未満	c
10個以上～50個未満	cc
50個以上～100個以下	ccc

平均被度 (%)

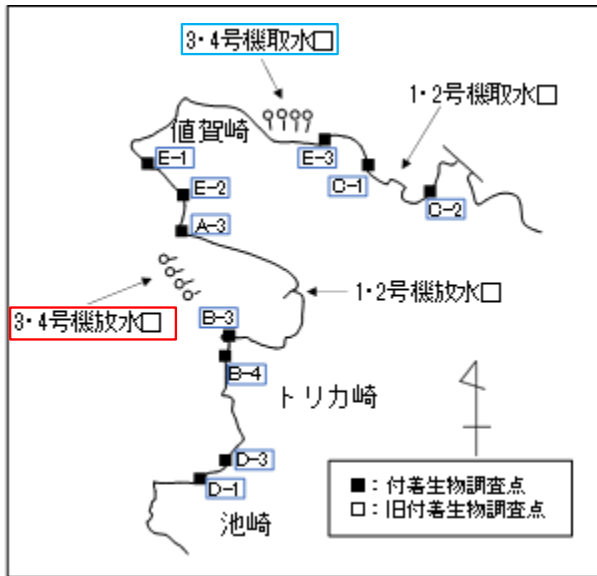
0.1%未満	r
0.1%以上～1%未満	c
1%以上～10%未満	cc
10%以上～100%以下	ccc

【潮間帯付近の植物】

平均被度 (%)

1%未満	r
1%以上～5%未満	c
5%以上～20%未満	cc
20%以上～100%以下	ccc

付着生物調査の概要①

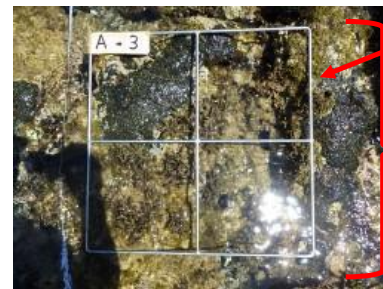


【調査地点（調査ライン）】



調査ライン

ライン



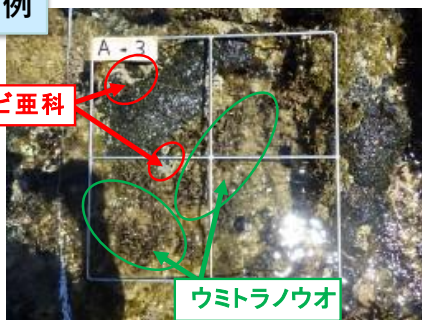
観察点
(A-3ラインは
全17地点)

50cm

岸側から海岸線までラインを引き、1.5m間隔で縦横50cmの枠内の付着生物を調査。調査ラインは全10ライン。（最短6m、最長33m）

付着生物調査の概要②

例



【調査ラインA-3：観察点16（夏季）】

【観察点16の植物の出現状況】

分類		被度
褐藻植物門	ヒジキ	5%未満
	ウミトラノオ	20%
紅藻植物門	サビ亜科	10%
	サンゴモ亜科	10%
⋮	⋮	⋮

平均被度	区分
1%未満	r
2%	c
2%	c
1%	c
⋮	⋮

観察

平均

被度：各生物が占める面積の割合(%)

17地点の
種類を計数

調査ラインA-3上の全ての観察点（17地点）を平均し、出現状況を評価

ラインA-3で出現した植物：計9種

観測点毎の付着生物の種類及び数量（個体数、被度）を確認

【参考：付着生物の個体数及び被度の区分】

区分	動物		植物
	平均個体数（個/枠）	平均被度（%）	平均被度（%）
r	極少量見られる	1個未満	0.1%未満
c	少量見られる	1個以上～10個未満	0.1%以上～1%未満
cc	普通に見られる	10個以上～50個未満	1%以上～10%未満
ccc	多く見られる	50個以上～100個以下	10%以上～100%以下